

ミカンの

品質・食味向上と鮮度保持

（貯蔵中の腐敗対策）に！

カルシウム強化栽培！！



ミカンはビタミンC（風邪の予防や疲労回復）やβ-クリプトキサンチン（美肌効果や免疫力向上）などの栄養成分が豊富な果物です！！

【硫酸カルシウム肥料】



カルゲン®

【粉状・粒状】 15 kg入り

ミカン栽培におけるカルシウムの必要性

- ◆ カルシウム欠乏の症状は現れにくい性質ですが、初夏から収穫にかけてカルシウムの要求量は高くなり、特に8月以降にカルシウムの吸収が阻害されると品質に大きく影響する
- ◆ カルシウムを十分に吸収させると糖度又は食味が向上する
- ◆ 柑橘類では栄養素としてチッソやカリよりもカルシウムが多く必要である
- ◆ 落花（果）・浮皮の軽減、鮮度保持（貯蔵中の腐敗対策）にカルシウム（カルゲン）は最適！！

養分吸収量（収穫1トンあたり）kg

チッソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
5.5	1.0	3.6	6.5	1.2

カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌のpHが上昇することなく、連続施用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約170倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適！
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害（徒長・軟弱）を軽減（拮抗作用）

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元肥	全面施用	2～3袋/10a	他の肥料と同時施用
追肥 1	全面施用	2～3袋/10a	7月中旬～8月上旬頃 （他の肥料と同時施用）
追肥 2	葉面散布 （ネオカル水和剤）	150～200ℓ/10a	1,000倍液 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

- ☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。
- ☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。
- ☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社

ミカンの

品質・食味向上と鮮度保持

（貯蔵中の腐敗対策）に！

カルシウム強化栽培！！



【硫酸カルシウム肥料】

リュウカル[®]

【細粒】 20 kg入り

ミカン栽培におけるカルシウムの必要性

- ◆ カルシウム欠乏の症状は現れにくい性質ですが、初夏から収穫にかけてカルシウムの要求量は高くなり、特に8月以降にカルシウムの吸収が阻害されると品質に影響する
- ◆ カルシウムを十分に吸収させると糖度・食味がよくなる
- ◆ カルシウムの吸収量はチッソよりも多く必要とする栄養素
- ◆ 落花（果）・浮皮の軽減、鮮度保持（貯蔵中の腐敗対策）にカルシウム（リュウカル）は効果的！！

養分吸収量（収穫1トンあたり）kg

チッソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
5.5	1.0	3.6	6.5	1.2

リュウカルとは・・・

カルシウム（Ca）とイオウ（S）が主成分のカルシウム肥料（硫酸カルシウム）です。水溶性のカルシウムですから、水に溶けやすく、作物へ速やかに吸収されます。あらゆる作物のカルシウム欠乏対策に効果的です！！

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元肥	全面施用	2～3袋/10a	他の肥料と同時施用
追肥 1	全面施用	2～3袋/10a	7月中旬～8月中旬頃 （他の肥料と同時施用）
追肥 2	全面施用	2～3袋/10a	10月上旬頃 （他の肥料と同時施用）

- ☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。
- ☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。
- ☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《代理店・販売店》

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社

東京都豊島区巣鴨 1-8-3